
Masic Diary new

エース・喜助・我愛羅・シカマル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

M a s i c D i a r y n e w

【Nコード】

N 0 2 3 2 P

【作者名】

エース・喜助・我愛羅・シカマル

【あらすじ】

夢華は中学2年生で妄想大好き女の子。

ある日、夢華のクラスに不思議な少女がやってくる。

その子はとても人間とは思えないほどに輝いていた。

無口で喋らないその子に夢華は元気よく声をかける。

その日から夢華は日記を書こうとしていた。

いつものように優香からノートを貰おうとしたが

もうないと言われた。ガッカリしているとその少女が

夢華に1冊のノートを差し出した。

夢華の冒険はここから始まる。

夢華紹介

初めまして。珊瑚と言いますが名前を変えるためこれからはACEで行きます。

投稿3作目ー（2作はまだ連載中）

えっと今回もあり得ない内容です。

STORY

篠原夢華（14歳）

妄想大好き中学2年生。

本当に妄想好き？暇さえあればボーとしている。

でも成績優秀スポーツ万能。そう、妄想さえしていなければもの凄く頭がイイ。絵も家事も演劇に得意とする。

ノートを1冊1日で使い切る。（将来は小説家になりたいと思っている）

親友であり幼馴染の優香にノートを貰っている。

好きな人は漫画の中の空想人物。ちなみに10人ほどいる。

漫画やアニメの男にしか興味がなかったため、告白されても断りまくる。

この世の者とは思えないほどの美少女。

美しく、天使…いや女神のよう。

大きな瞳には躍動感あふれている。

完璧な二重なため瞳がより大きく見える。

とても綺麗な声で喋る。

外人のように白く長くそして細い手足。

NICE BODYのスリル美人。それはそれは世界中の人々（女も含めて）

が恋してしまいそうな女の子だ。

可憐で美しくそして可愛く、素敵…いや綺麗??

全部当てはまってしまいそう。

残念だがもの凄く天然でボケ。

成績優秀スポーツ万能裁縫OK料理OK演劇OK
ダンスも推理も大得意で、なによりも強い！！
人前に出る事が大好きな笑顔の絶えない女の子。
センスも抜群。 PERFECT少女。
キュート系フワフワ少女。

です。前のは短編に間違えてしまったので
これは連載いたします。
あつても。これは自己満足で書いています。

ではあ次の投稿から第1章書きます。

A C E

第1章謎の少女 麗菜

第1章謎の少女 麗菜

「ねえ。夢華…だからって…聞いているの？」

「ほええー！」

大きな声で叫ぶこの少女の名前は
篠原夢華。

そして今、寝ていた夢華を叱っているのが
彼女の親友であり幼馴染の優香だ。

「えっ何??」

こうしてボケてるのもいつもの事。

イライライライライライライライライライライライライライ
イライライラ

ゴツン！！

優香が一発いれると教室は静かになった。

「はい。授業始めるで〜」

こいつは夢華達の担任。鈴木翔太郎で

独身。皆は何故彼が独身でいるのかが信じられない。

一部の男子は翔太郎に恋している。

まあカワカツコいいという所だ。

「あれえ〜??鈴つちが動揺してる〜!!ってことは転入生か？」

お調子者の南雲雄介が騒ぎ出すと教室はいきなり騒がしくなる。

「そつだ。雄介の言う通り、今日は転入生が来ている。

じゃあ君。はいりたまえ!!」

ガラガラ

そこには大和撫子のような和風な少女がいた。

綺麗だった。が、あいにく夢華には劣る。

男子は女子が来たただけで大盛り上がり。

「うつひょ」

「可愛いじゃん!!」

「名前は名前!!」

「綺麗ですね。」

「俺惚れちまいそう?」

少女は何も言わずに黒板に名前を書いた。

篠原 麗菜 と。

「おいおいおい!!この子も篠原かよ!!」

ここにはあこいつもいるんだぜ!!麗菜ちゃん。

こいつこいつ。」

と言って雄介は夢華の手を取り、前に連れてきた。

「こいつも篠原って言うんだぜ!!ダブル篠原だな。」

一気に教室の皆が声を張り上げる。

つとここで鈴木が授業を始めた。

休み時間

「優香あ。ノートが欲しんだけど!」

いつものように夢華は優香にノートをねだる。

「ふざけないでよ。これで今月15冊目よっ!!」

もうないから、てか。私のお小遣いすべてあんたのノートに費やしてるし。」

そう。優奈の家はこんな感じなのだ。

ココ

超貧民 貧民 少し貧民 平民 少し富豪 富豪 大富豪

「あのっ……これでよければ。夢華ちゃん……」

あげるよ。」

夢華にノートを渡したのは麗菜。

「ありがとう。」

夢華はニッコリと笑い、早速家に帰った。

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0232p/>

Masic Diary new

2010年11月20日17時38分発行